

分野	科目名		配当年次	開講期
基礎分野	人間関係論Ⅳ		3年次	前期
単位数	時間	担当教員	実務経験の有無	
1単位 (15時間)	16時間	大学 非常勤講師	有	
授業の概要	実習の内容は、感じる・からだは動く・自己をみる・関わる・表出表現の5つの要素を含み、自己と他者、自己と環境との相互性を体験する。			
到達目標	ひと・もの・ことと関わることをとおして、心身一如の人間を探求する。五感を通して「感じる」ことを基本に、他者と関わる時にどんなことが自他の身心に起きているのか注意を向ける。演習での自他の相互的な関わりを中心に、さらには日常生活や看護場面等でどのような関わりをしているのか探求し、自ら「気づく」「学ぶ」力を養い、実際に人との関わりを培っていくことを狙いとする。その方法として「ニュー・カウンセリング」の実習を体験する。			
授業計画	No.	授業内容	授業方法	備考
		<p>感覚の覚醒、行住坐臥、ものの声を聞く、与えること受け取ること、目隠し歩き、マイシルエット、ムーブメント、群像、シェアリングなど(実習の内容は天候等により適宜変更する)</p> <p>シェアリングについては、実習毎に振り返りノートを作成。ノートにはマインドマップの方法を用い、自他の体験を分かち合うことで、自己洞察を深める。(自他の違いや共通点、生活習慣・思考習慣への洞察)</p>	講義 ・ 演習	
評価	<p>評価：演習への参加状況、レポートによる</p> <p>レポート：「体験学習を通してひと、もの、こととかかわって、感じたり、気づいたりしたこと」について、演習中の具体的な実習を1つ以上取り上げる。各自、自分の考えるレポートタイトルをつけ、1600字程度の記述。A4 40字×40行 表紙は不要。</p> <p>①体験の記述</p> <p>②体験の意味を考察、洞察(看護への視点・生活への振り返りなど)</p>			
参考文献	<p>伊東 博：「身心一如のニュー・カウンセリング」 誠信書房 1999</p> <p>藤岡 完治編著：「感性を育てる看護教育とニュー・カウンセリング」 医学書院 1995</p> <p>藤岡 完治：「関わる事への意志 教育の根源」 国土社 2000</p> <p>トニー・ブザン：「マインドマップ超入門」 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2008</p>			
備考	宿泊での講義・演習とする			